

認知症かどうかにかかわらず
 困っていること できないことは お互いに頼りあえばいい
 間違ったり 失敗したりすることも柔軟に受けとめられる社会になってほしい

下坂 厚



世界は美しいものであふれている
 ただ それに 気づいてないだけかも知れない



手の上にそっと 手をかさねると やさしく私の手を にぎってくれる
 誰かの母であり 誰かの妻であり 誰かの子であった
 それだけで立派じゃないですか 静かに そのぬくもりが
 禅問答の様に問いかけてくる 考えるな 感じろと

今月の写真

蓮(上) 手と手(下) [提供: 下坂厚さん]
 「写真を撮る時って、自分自身と向き合っているのだと思います」。若年性認知症と
 ともに生きる下坂さん。病気は自分のすべてではなく一部分。一日一日、今を生きる
 ことを大切にしたい。趣味の写真とともにその思いを綴る(2・3面参照)。

CONTENTS

2・3面

人間といういのちの相

認知症と生きる
下坂 厚さん

6・7面

特集

2023年度
宗派の予算

10・11面

2023年宗会 招集

真宗本廟建物(諸殿等)17棟が
「重要文化財」指定へ ほか

4面

現在を **生** きる

【新連載】
縁家 -お寺の掲示板-
第1回

5面

親鸞聖人にであう
第13回

9面

聞 今月の法話 第34回

同朋新聞

どうぼうしんぶん

Dōbō Shimbun

8

Vol. 789 August 2023

Shinran
500th

〓 慶讃テーマ〓
 南無阿弥陀仏
 人と生まれたことの意味をたずねていこう



慶讃特設サイト

発行所
 真宗大谷派宗務所
 代表者 木越 渉
 編集/東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
 TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料
 送料 1部1カ年1,300円(部数により変動)
 振替口座番号 01000-6-27404
 加入者名 東本願寺出版部

真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう

通信員リレーレポート Vol.238

日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会を紹介します。



鷺尾 信子さん

聞くというのを大切に

新潟教区 第十四組 淨照寺門徒

鷺尾 信子さん(75歳)

「お話が聞けますよ」という住職からの誘いに「ではぜひ」と参加した推進員養成講座(現在の同朋の会推進講座)の言葉から、鷺尾さんの聞法の歩みが始まった。「両親を送り、主人にも早くに病が見つかったこともあり、話を聞く機会を求めていたよ...」

現在を生きる



教区女性研修会の皆さんと(鷺尾さんは左奥から2番目)

もわからなくても聞くということ大切にしていますと、少しずつ、ぼんやりながらも『真宗聖典』を読み、一つひとつを確かめながら、終わりのない学びの歩みに魅力を感じられている。

また、聞法されるようになって、母親からよく聞いていた「明日ありとおもうころの あだ桜 夜半に風も吹かぬものかは」という言葉が、親鸞聖人が詠まれたと伝わる歌ということを知ったという。母は母でまた、その親から聞いていた言葉だったんだらうと最近思います。教えて、本当に日々の生活の中にあるんですね。亡くなって何十年たっても思い返される母親の言葉が、有難いと感じられるようになったぞうだ。

「聞く」ということを通して小さな気づきを紡いでいる鷺尾さん。話の点と点がつながって線になり、それが面になる。今までの人生の中で経験した出来事と教えがつながり、自分の生き方や考え方も照らされていくということなのだろう。「それぞれの受けとめがあるだろうけど、聞法が次の世代の人たちにとって、教えに出遇うきっかけとなれば」と願われる鷺尾さん。自分のこだわりや枠を外して、広く受けとめていくという生き方を大切にしているからこその言葉だと感じた。

新潟教区通信員 岩見 美希

縁 家 お寺の掲示板

第1回

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。

生は偶然 死は必然

この言葉は多田孝圓先生(大阪教区 圓乗寺)からお聞きした言葉です。病氣や事故、さまざま

な原因によって人は亡くなります。しかし、それらは死の「縁」であり、死の「因」は「生まれながら」なのです。誰しも期せずして生まれ、この先誰もがいずれ生涯を閉じていかなければなりません。偶然にたまたま、有ること難いこの命。しかも私たちは聞き難き佛法も今すでに聞いています。仏法聴聞し、真剣に、丁寧に、大切に、この生を尽くしたい。その思いからこの言葉を選びました。



真宗寺 (九州教区 鹿児島組) 鹿児島県垂水市柘原362 住職 中谷 明潤

「揭示して終わりではなく、揭示してからのスタートだと思っています」と、真宗寺衆徒の中谷潤心さんは語る。「私は、門徒さんをはじめとしたさまざまな方に法語を見てもらうだけでなく、そこからいろんな意見や感想をいただくことも大切だと思っています。見てもらった方からリアクションをいただけるように300字程度の解説文の揭示も行い、できるだけ法語の意味が伝わるように心がけています。」

実際に、掲示板を見た門徒さんから、「解説のおかげで言葉の理解が深まった」「この言葉に出あえてよかった」などの声が寄せられたという。さらに中谷さんはこう語る。「掲示板だけでなく、他にもお寺独自の回覧板、SNS等さまざまな方法を用いて多様な人たちに届くよう取り組んでいます。またそのことによつて生まれる縁も大切にしていきたいと思っています。」

九州教区通信員 樫 慈恩

真宗寺 Instagram



相続・信託のご相談は北陸銀行へ。

なにかから備えたいかわからない。

遺言書はホントに必要なの？

相続で面倒をかけたくない。

いまのうちに子や孫に財産を譲りたい。

どのくらい相続税がかかるの？

家族のライフストーリー、こんなお悩み解決しませんか？

●ご相談内容によっては必要に応じて専門家をご紹介する場合がございます。●信託商品をご利用いただく際に手数料が必要となります。●詳しくは北陸銀行の窓口・ホームページでご確認ください。

www.hokugin.co.jp

あなたのライフストーリーを考える。北陸銀行

真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう



第13回

「迷」

「道に迷うことを

縁として」

1211(建暦元)年、親鸞聖人は5年の歳月を経て流罪を許されましたが、そのまま越後に留ま
ります。なぜ都に帰らなかったのかは定かではありません
が、1212(建暦2)年に法然上人がお亡くな
りになったという知らせを受けたことも大きな理由の
一つであると考えられます。

1214(建保2)年、42歳となった頃、妻と子を
伴い関東に向かわれます。200キロを超える旅でし
た。その道中、上野国佐貫(現在の群馬県邑楽郡)
で、相次ぐ干ばつにより、飢えに苦しむ人びとを救おう
と、浄土三部経を千回読誦することを決意されます。
しかし、やがて自らの過ちに気づき、途中で読むのをお
やめになります。その気づきとは「自分が経を読むこと
で人を救えるという思い上がり」です。そのことは
名号の他には、何事の不足にて、
必ず経を読まんとするや(『恵信尼消息』『真宗聖典』六九頁)
と伝えられます。

経を読むということは何も間違った行ないではあり
ませんし、人びとの役に立ちたいという純粋な思いから
のことであつたでしょう。しかし、法然上人からいただい
た教えに背く自分に気づかれたのです。確かな教えに
出遇いつつも、純に念仏の教えに生きる道から逸れて
は迷い、しかし、その迷いによってあらためて真実の教
えに出遇い直されたということではないでしょうか。

親鸞聖人に であう

浄土真宗をあきらかにされた親鸞聖人。
大谷中・高等学校「京都」で
生徒とともに学ばれている乾さんと、
中高生の素直(リアル)な問いを手がかりに、
「人と生まれたことの意味」を
親鸞聖人のご生涯に学んでいきます。



乾 文雄
京都教区近江第5組
正念寺住職
大谷中学・高等学校講師

「」の話おかしくないですか? 念
仏一つと言いながら、人助けの
ためにお経を読んだんですよね?」
「お坊さんが困っている人のために
お経を読むのって普通やん。何がお
かしいの?」

うれしいことに、生徒同士が意見
交換してくれました。
「たぶん親鸞さんは飢えて苦しむ人び
とを見るに見かねたんやろ? な。そん
でもって迷わはつたんやろ? な」

「迷」という字は、道を表す「之」
と、穂にいつぱいの実をつけている様
を表す「米」から成り立ちます。四方
八方に広がる道の真ん中でどの道を行
けばいいのか、どれが正解かがわか
らずにたたずむ様子を表すようです。
「みんな、どんな時に迷う?」
「進路」、「休みの日に何をするか」
「初めて通る道」、「何を食べるか」
「朝起きて学校に行くかどうか(笑)」
「そうよな、迷うことって多いよね。」
確かに食事は迷うな。私も一人で
レストラン入ってメニュー見たらあま
りにもおいしそうなものが多くて、
結局注文を決められずに『出直しま
す』言うて出ていったことあるわ
(笑)。ところで迷うの反対は何?」

「あきらめる」、「決める」
「選ぶ」、「迷わない(笑)」
「そう! 選ぶということやな。この
『選』という字やけどな、右側見て
何か気づかない?」
「っ?」

「共の上に己が二つ並んでいるよ
ね。迷った時に、足並み揃えて共に
同じ道を行くという意味が選ぶな
んやて。すくくない?」
「まあ、何がすくいかは自分で考えてく
ださいな。要するに道がいつぱいある
から迷うんよね。一本道なら迷わな
い。だから、私は「の道を進むぞ」と
決めれば迷いから解放される。でもな、

決めた時にはそれが正解かどうかわか
らないこともある。だから信じるしか
ないねん、これでいいのだ」
「ところがや、決めた道を進んでいる
と、また分かれ道に必ずあう。人生は
選択と決定の繰り返し。そんな中、前
に選ばなかったのと同じような道を選
び直していることがある。なんか
やっぱりそっちの方が良かったりな
んかして〜とか思うてな。それが正
解やたらええねん。でも、やっぱり
違うか〜と感じたりする。気づけた
らいい。やっぱり違つた、とんだ寄り
道をしてしまったと。帰るべきとこ
ろに戻ればいいんやから」
「大切なのは、私には戻るところがあ
るということ。いろんな迷いや選
びが満ち満ちているのが人生やから、
私はどこに立って道を選んでいくか、
つまりどこに立って生きていくか
ということがはつきりすれば迷わな
く済むし、迷っても戻って来られる」
「その立つべきところを清沢満之先
生は『一つの完全なる立脚地』(『精
神主義』)と言われた。そして『それ
が心の中にある時は前に道が開かれ
るけど、忘れれるとたちまちに道が閉じ
てしまう』(『他力の救済』取意)と」
「迷つても心配せんでええというこ
とや。今日の授業であつたように、親
鸞さんも迷わはつてん。でもな、立つ
べきところ、帰るべきところに出
あつてはつたから、立ち止まるとは戻
ることができたというのは忘れな
いで。私たちも気をつけないと『本
当に大事なこと』と『本当は大事では
ないこと』がひっくり返つても気がつ
かないことがあるかい」

ある先生は「私たちは大事なことを
すくなく忘れては道に迷つてしま
う。だから思い出しては立ち止まる
ために念仏があるのです」とおっ
しゃいました。

特集 2023年度 宗派の予算

2023年度の真宗大谷派一般会計について、どのような収入があり、その収入がどのような教化事業や運営経費に使われているのか、目的ごとに分けて見ていきます。

2023年度 一般会計 經常部臨時部予算 (2023年7月1日～2024年6月30日)

1 相続講金 46億4,066万円

「法義相続(お念仏の教えを次代に伝えていくこと)」と「本廟護持(開法の根本道場である真宗本廟の維持)」を願いとす宗派財政の基盤となるご懇志です。相続講金をお納めいただいた特典(御礼)としては、「肩衣」「院号」「真宗本廟取骨」があります。



御影堂全景

2 同朋会員志金 2億8,000万円

同朋会運動推進のため会員志を皆様からお納めいただいております。

3 懇志金 8億2,604万円

参拝接待所で受け付けている申経等の読経志、大谷祖廟で取り扱っている納骨志、境内の賽銭箱にお納めいただくお賽銭等です。



懇志受付(行事中)

4 冥加金 3億1,905万円

奉仕団として同朋会館に宿泊したり、研修会に参加するために納めいただいております。その他、宗派所有不動産の活用による駐車場収入や賃貸収入等があります。



同朋ジュニア大会の様子

5 賦課金 7億8,860万円

真宗大谷派に所属する全ての寺院に課せられる義務金です。

6 礼金 5億7,565万円

御本尊の授与や帰敬式(おかみそり)の受式、住職の任命等の申請の際にお納めいただいております。



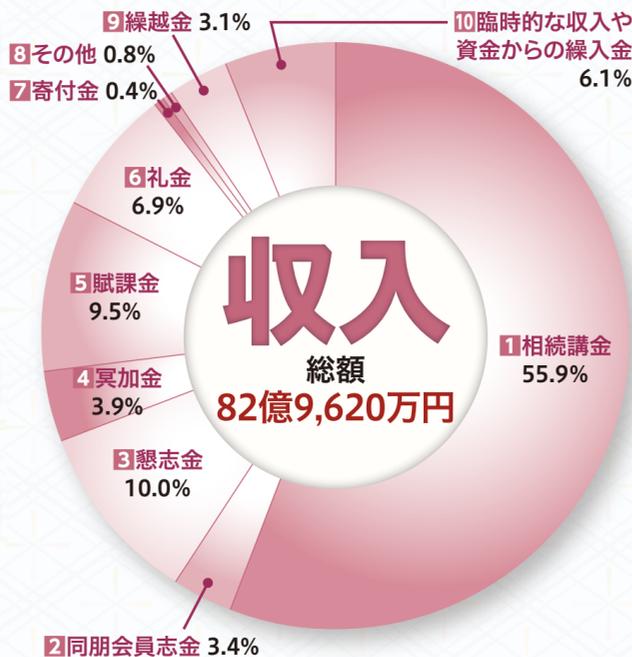
帰敬式の様子

7 寄付金 3,400万円

庭園施設の維持・保全のため、参観者にお納めいただいている協力寄付金です。



渉成園



8 その他 6,840万6,899円

大谷祖廟で行う仏前結婚式などの施設使用料、寺院を対象とした記念品の収入、預金利息などがあります。



記念品

9 繰越金 2億5,498万3,101円

10 臨時的な収入や資金からの繰入金 5億881万円

毎年決まった事業がある經常部とは違い、その年度ごとの臨時的収入です。たとえば2023年度は、真宗本廟諸施設管轄積立金受金1億5,300万円や宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業推進資金受金8,601万円などの収入があります。

2023年度 特別会計

■ 寺院の災害復興支援 第2種共済特別会計	5億670万円
■ 東本願寺出版 東本願寺出版特別会計	4億9,000万円
■ 墓地運営 東大谷墓地特別会計	1億3,450万円
■ 首都圏教化 首都圏教化推進特別会計	2億3,440万円

※特別会計とは、一般会計とは区別して、特定の事業にかかる収入・支出について経理する会計の総称です。

6 その他 2.7%



3 教区・組・地方機関での教化活動推進に 24億3,932万円

・教区教化活動推進のための交付金・助成金
・同朋の会の活動促進
・教区の事務を取り扱う教務所の運営 他

4 沖縄、海外、首都圏での開教に 3億4,553万円

・沖縄別院での開教活動
・北米・ハワイ・南米開教区での海外開教活動
・首都圏教化推進特別会計 回付金 他



北米開教区での仏教講座

1 真宗本廟の崇敬・護持に 14億8,028万円

・報恩講や春の法要の執行
・帰敬式の執行 ・御影堂、阿弥陀堂の蠟燭、仏花などのお給仕 ・真宗本廟での法話 ・真宗本廟の警備、防災建物の修繕、光熱水費 他



御影堂の荘厳

2 本山で実施される教化施策や研修、学事振興、社会活動に 14億4,428,000円

■ 中央推進費 人件費 1億4,438万円
・同朋会館・研修道場・和敬堂の運営 他
■ 真宗教化センター費 人件費 2億4,771万円
・真宗教化センターでの教化事業や研修
・真宗教化センターの警備、防災、光熱水費 他
■ 学事・社会活動費 人件費 3億1,424万円
・大谷専修学院の運営 ・親鸞仏教センター(東京都)の運営
・真宗大谷学園、関係学校への助成 ・東本願寺奨学金の給付
・大谷派教師の養成 ・社会福祉施設での教化活動推進 他

親鸞仏教センター

5 宗門諸機関の運営経費に 19億2,013万2,000円

(教区・首都圏除く)
・御本尊の授与
・宗派の最高議決機関である宗会の運営
・宗派の事務を取り扱う宗務所の運営
・災害への対応 他



宗会の様子

6 その他 2億2,000万円

7 別途資金を充てて行う事業に 4億8,651万円

※人件費合計 32億4,610万円 ただし、退職慰労金2億4,000万円除く

会計	歳入額	歳出額	歳入歳出差引剰余金
一般会計	7,736,527,448	7,226,561,246	509,966,202円 254,983,101円を平衡資金へ繰入、254,983,101円を2023年度へ繰入
經常部	7,340,296,730	6,782,290,128	
臨時部	389,096,918	444,271,118	
退職慰労金給付運用資金繰入	7,133,800		
第2種共済特別会計	475,253,375	264,839,713	210,413,662円 復興共済積立金へ繰入
出版物特別会計	511,978,118	487,075,569	24,902,549円 出版物特別会計運営資金へ繰入
東大谷墓地特別会計	138,126,248	121,368,801	16,757,447円 8,378,724円を墓地整備準備金へ繰入、8,378,723円を2023年度へ繰入
首都圏教化推進特別会計	222,405,796	201,922,041	20,483,755円 首都圏開教推進資金へ繰入
宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業特別会計	1,111,318,750	826,237,760	285,080,990円 2022年度へ繰入

2021年度 宗派の決算

御本尊は本山からお受けしましょう

ご懇志等のお問い合わせは、お手次ぎの寺院または 真宗大谷派宗務所 財務部 (075-371-9186) まで

寺院活性化支援室 別院活性化プロジェクト

別院とのつながり みつけた!

“木彫刻の寺” 東本願寺の魅力 再発見!!

真宗大谷派には、地域で教えを伝える中心道場として、北海道から沖縄、海外あわせて55の別院があります。それぞれの別院には、その成り立ちや地域との交わりの中で、人を通したさまざまな歴史が刻まれてきました。別院を地域に開く取り組み「別院活性化プロジェクト」が行われた井波別院瑞泉寺(富山県南砺市)には、双方の再建の歴史を通じた東本願寺との深いつながりがあります。

御影堂門は、世界最大級の木造の門。
その大きさに圧倒されますが、
目を凝らせば木彫刻の宝庫…。

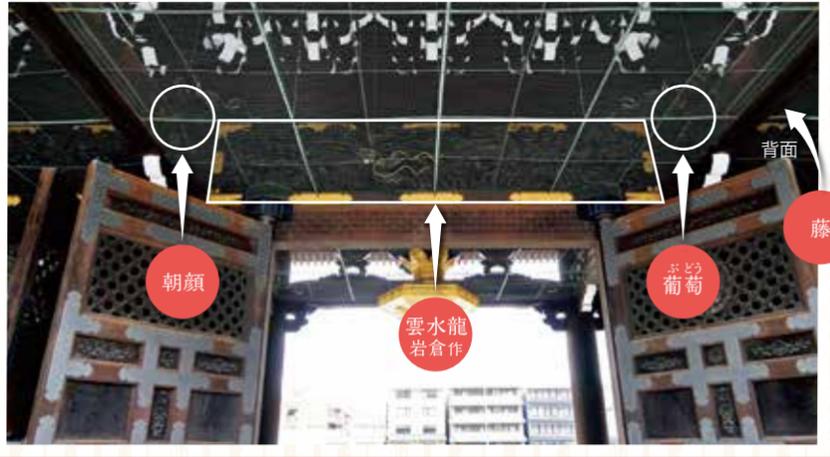
明治時代に再建された
という時代性も含め、
その特色にご注目ください!!



虹梁(梁)

御影堂門の虹梁には、明治期に流入した西洋彫刻に対抗して、草木の浮彫が施されている。草木の浮彫は非常に珍しく、1面を1人で彫ったとして1年程かかる、非常に手の込んだ仕事がされ、最高のものを作ろうとした先人の苦勞がうかがえる。

門をくぐって、御影堂側から見ると…



葡萄



藤

朝顔



岩倉理八

御影堂側の龍は、彫刻主任を務めた井波・岩倉理八作。東本願寺の御用彫刻師・前川三十四郎に習って発展した井波彫刻の特徴が見られる。線の抑揚が大きく、動的な雰囲気を持ち、髭が銅製なのも特徴。



早瀬長兵衛

烏丸通側の龍は、空襲で焼ける前の名古屋別院の彫刻も彫った尾張・早瀬長兵衛作。御影堂門の天井画を描く予定だった画家・竹内栖鳳の助言をえて、遠くを見るような眼が描かれているのも特徴。



瑞泉寺と地域をつなぐ「テラまちコネクト」代表 齊藤 優華さん

プロジェクトを通して、本山と瑞泉寺とのつながりや瑞泉寺の魅力も再確認することができました。慶讃法要での彫刻ガイドツアーに参加された方が、実際に瑞泉寺に来てくださったことが、何よりも嬉しかったです。井波でお待ちしています。



井波彫刻協同組合 理事長 花嶋 一作さん

見えないところに素晴らしい仕事があるのは、先人の信仰心のなせる業。明治時代に全国の職人と切磋琢磨して腕を磨き、その技を極めて遺してくれたのが、大正時代に再建された瑞泉寺太子堂の彫刻です。ぜひ、井波にも足を運んでほしいと思います。

井波別院瑞泉寺にもぜひお参りください。

毎年7月21日から29日、聖徳太子の一生を語る絵解きや聖徳太子2歳像のご開帳などが行われる「太子伝会」が勤まります。



井波別院瑞泉寺太子堂(写真左)



太子堂の唐狭間

動画で体験!
「井波彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツアー」公開!!



御影堂門の他、御影堂・阿彌陀堂・鐘楼・阿彌陀堂門の解説も含め、慶讃法要期間中に実施したツアーの様子を動画で追体験してみませんか?

詳細はこちら

「真宗本願(東本願寺)彫刻ガイドマップ」もダウンロードできます。



「井波彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツアー」開催!

再び

10月28日(土)~30日(月)、(公財)竹中大工道具館(兵庫県神戸市)主催にて、彫刻師による解説と真宗大谷派僧侶による解説を交えたガイドツアーが開催されます。

<参加費1,000円・要事前申込>



詳細はこちら



お問合せ 078-242-0216

(竹中大工道具館 ※9:30~16:30、月曜休館)

こんな取り組みも展開します!
「別院会議」~あなたの次世代へつなぐ~

四日市別院(大分県宇佐市)での活性化プロジェクトのもと、別院や寺院に関わる方々で「次の世代に教えをつなぐため、何をどう考えていったらよいか?」を話し合う対話型寺院運営ボードゲームを作成しました。別院や寺院を考えるさまざまな場面で活用いただけます。



中身がコレ!

詳細はこちら



南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

第34回

私に仏教を伝えてくれた人

小松大聖寺教区 第2組 行善寺 ^{わらく}和樂 ^{けんしょう}賢章



今月の
法話

「仏法は、聴聞(ちやうもん)にきわまることなり」(蓮如上人御一代記問書)と教えられているように、真宗門徒は昔から仏法聴聞を大切にしてきました。日々の生活の中で、仏さまの教えを聞いていただくことを願いに、毎月一話ずつ掲載します。

あなたに仏教を伝えてくれた人は誰ですか。「思い当たる人が浮かばない」と感じられた方もいるかもしれませんが。ですが、気づかないうちに、いつのまにか仏教が伝えられていることもあります。

思えば私自身、身近な人たちから仏教を伝えられてきました。特に大きな存在だったのが、門徒さんたちと亡き父です。

私は、物心のついた三十年ほど前から、うちのお寺で勤まる報恩講が楽しみでした。小さな本堂が門徒さんたちでごった返すなか、子どもの私は、お齋(さい)の配膳を手伝ったり、お勤めに参加したりしていました。門徒さんたちの「南無阿弥陀仏」の声の響きや、法話を熱心に聞いたり笑ったりする姿、にぎやかなお齋の時間、うれしそうに帰っていく表情。門徒さんたちの熱気から、お寺にお参りしたり、仏教を聞いたりするのは「楽しいことだ」と、子どもながらに感じたのだと思います。なんとなく「僧侶になりたい」と思うようになっていた

のも、その体験があったからかもしれません。いつの間にか門徒さんたちから仏教を伝えられていたのです。

そんな門徒さんたちと友だちのように接していた父の姿も報恩講の思い出です。その父は、私が中学三年生の時に亡くなりました。父は肺がんを患っていたのですが、私は絶対に治るものだと軽く考え、まさか亡くなるとは思っていませんでした。父が亡くなる日の朝、父につきっきりだった母からの報せを受け、姉と二人で病院に行きました。息をするのも苦しい状況の父は、かすれた声で、高校受験を控えていた私に気遣う言葉をかけてくれました。私は、父が亡くなってしまっ

た泣くだけで泣きました。葬儀でも泣きじゃくり、しばらく塞ぎこんでいました。しかし、その二カ月後、高校生になつてからは、あれだけ悲しんでいたのが嘘のように、父を思い出すことはほとんどありませんでした。ある時、高校に入ってからできた友だちに、「お父さんってどうしてるん？」

と聞かれました。友だちは、私の家について遊びに行っても、父の姿が見えないので気になっていったようです。「ちょっと色々あって」と私が言

いよどんでいると、「うちも離婚して母親しかおらんよ」と言ってくれました。ですが、私は本当のことを言い出せませんでした。「かわいそう」だと思われる気がしたのです。大学生になってからは、父との死別を友だちにも言えるようになりましたが、それでも父を思い出すことなく生活していました。

大学を卒業してお寺に帰ってきたから、門徒さんのお宅にお参りに行くと、「お父さんにお世話になった」と、父の話をたびたび聞くようになり、父の知らなかった父の姿を知り、自ずと父のことを考えるようになりました。

その時に、ふと頭に浮かんできたのが「父殺し」という言葉です。「父殺し」といっても、私は父の命を奪ったわけではありません。この言葉は、仏教で説かれている五つの罪「五逆罪(ごぎやくざい)」のうちのひとつです。教学的には間違った受けとめ方かもしれませんが、父の存在を消し

続けてきた私には、「父殺し」とは私のことだと感じられたのです。父の病氣は絶対に治ると信じこ

んでいたことも、ずっと父を忘れて生きてきたことも、父の死を「受け入れたくない」という心の表れだったと思います。その「受け入れたくない」という私に気づかされた時、ようやく父の死を受け入れていく歩みが始まった気がしました。そして、仏教は私に説かれている教えなのだとして初めて実感しました。仏教が父と私をつなぎ、父が仏教と私をつないでくれたのです。

私たちは、誰かの存在があつて初めて聞法することがあります。何気なく称えている「南無阿弥陀仏」も、自分一人で思いついたわけではありません。「南無阿弥陀仏」と称えてきた人たちの声を聞いて、私たちは「南無阿弥陀仏」に、仏教に出会うことができます。そうして、はるか昔から数知れない人たちによって伝えられてきたのが仏教です。「南無阿弥陀仏」を称え、聞法する時、仏教を伝えてくれたすべての人たちとつながることができるとは思いませんか。



教行寺本堂災害復旧工事(奈良県北葛城郡)

西暦 578 年創業 社寺建築

剛 金剛組

本店/大阪・東京
支店/北海道・関東・名古屋・京都・九州
営業所/奈良・広島

0120-054-731

https://www.kongogumi.co.jp/

金剛組専属宮大工の匠の技をご覧いただける加工センターやギャラリーの見学会を行っております。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい

読者のお便り募集

『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先 Eメール/
shuppan@higashihonganji.or.jp
FAX/075-371-9211

〒600-8505
京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版「同朋新聞編集係」

◇住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075)351-6325
フリ-FAX 0120-89-5255
定休日: 日曜日

2023年宗会 【第73回宗議会・第71回参議会】招集



参議会での採決の様子

当派の最高議決機関である宗会(常会)が招集され、6月1日から13日まで宗議会が、6月9日から14日まで参議会が開かれた。今議会では、2023年度の宗務執行方針の他、2021年度決算や2023年度の予算等の財務案件、諸条例案などが審議され、以下のとおり可決された。

可決した条例

- ▶ 教区及び組の改編に伴う関係条例の整備に関する条例
- ▶ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業本部職制を廃止する条例
- ▶ 統計調査基本条例の一部を改正する条例
- ▶ 教区及び組の改編に関する条例の一部を改正する条例
- ▶ 男女共同参画推進に向けた組門徒会員選定に関する特別措置条例の一部を改正する条例
- ▶ 別院条例の一部を改正する条例
- ▶ 儀式条例
- ▶ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業特別会計条例を廃止する条例
- ▶ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業特別会計終了後の懇志金並びに慶讃法要御香儀の収納に関する臨時措置条例
- ▶ 宗務改革推進資金に関する特別措置条例の一部を改正する条例
- ▶ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業推進資金に関する特別措置条例の一部を改正する条例
- ▶ 親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗七百五十年慶讃特別会計の懇志金納付に関する特別措置条例を廃止する条例
- ▶ 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌特別会計終了後の懇志金並びに御修復賦課金及び御遠忌法要御香儀の収納に関する臨時措置条例の一部を改正する条例
- ▶ 蓮如上人五百回御遠忌特別会計終了後の懇志金及び御遠忌御香儀の収納に関する臨時措置条例の一部を改正する条例
- ▶ 出版物特別会計条例の一部を改正する条例
- ▶ 出版物に関する条例の一部を改正する条例
- ▶ 宗務職制の一部を改正する条例
- ▶ 会議の開催に関する特別措置条例

その他可決した案件(一部)

- ▶ 主要な境内建物の増築(トイレ)の承諾を求める件
- ▶ 真宗大谷派所有財産(聖護院別邸跡地)の処分の承諾を求める件
- ▶ 三条教区・高田教区の教区改編に伴う新潟教区発足の議決を求める件
- ▶ 富山教区・高岡教区の教区改編に伴う富山教区発足の議決を求める件
- ▶ 小松教区・大聖寺教区の教区改編に伴う小松大聖寺教区発足の議決を求める件

金沢教区・鶴来別院・金沢別院

金沢教区では、5月13日・14日に鶴来別院、同日19日から21日には金沢別院において、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が厳修された。本法要には、5月2日から5日にかけて金沢教区大谷スカウト協議会が行った讃仰事業「灯明リレー」によって、京都の真宗本廟から鶴来、金沢別院へと運ばれた灯明が用いられた。

13日には鶴来別院において大谷浩之鍵役の剃刀による帰敬式が行われ、74人が受式。14日の庭儀では100人の参列があり、本堂で舞楽が行われた。

金沢別院では、御遠忌法要に向けて本堂の修復工事が行われ、

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要 厳修

教区御遠忌テーマ「よるんづはつひもつと」今、親鸞さまに出会う時

2019年に完了。新たな本堂で法要を迎えた19日は、初速夜を前に音楽法要が営まれた。当日はあいにくの雨天ではあったが350人が参拝した。20日は大谷暢裕門首の剃刀による帰敬式が行われ、151人が仏弟子の名のりをあげた。また20日、21日には縁儀、庭儀が行われ、華やかな衣装に身を包んだ267人の子どもが参列した。

5月28日には金沢別院において「子どもごえんき」が行われ、親子約200人が参加。真宗の教えで大切にされている「もに」ということを、遊びを通して子どもたちに感じる機縁として、そして、この日を50年後の未来につながる日としたいという願いのもと、若手スタッフを中心に企画・実施。当日は親鸞聖人や七高僧のカードを集める謎解きゲームやO×ゲームを



子どもごえんき

も行われ、会場にはキッチンカーが来場。世代を超えた多くの人で賑わった。新型コロナウイルス感染症の拡大により3年間の延期となり、寺院・門徒ともに長く待ち望まれた御遠忌法要となったが、より深く御遠忌の意義をいただく時間となった。法要に臨む期間中は、教区御遠忌テーマのもとさまざまな讃仰事業が行われ、その一つひとつが聖人に出遇っていく機縁になった。(金沢教区通信員 藤光弘)

行い、子どもたちが楽しみながら教えにふれる場となった。また、御遠忌法要、子どもごえんきの際には「EAT IN EAST」フェス〜お東さんで、いただきます!〜も行われ、会場にはキッチンカーが来場。世代を超えた多くの人で賑わった。

学習冊子『是旃陀羅問題について』発行

このたび、僧侶と門徒が是旃陀羅問題について共に学ぶための手がかりとして、学習冊子『是旃陀羅問題について』(編集:是旃陀羅問題学習資料編集委員会)を発行した。

本冊子では、全国水平社創立以来問われ続けている是旃陀羅問題について、問題の所在を明らかにし、今一度、經典と真向いになって、『観無量寿経』部分の訂正した読み方を提示した。また、本冊子は、部落解放同盟広島県連合会をはじめとする被差別の当事者の方々との対話を重ねる中で生まれ

たものであり、今後も対話を続けていく。今後、この学習冊子を元に、是旃陀羅問題の課題の内容をおさえ、教区・組において取り組みが展開

国重要文化財 鐘楼・手水屋形の修理に着手

宗派では、2021年9月から国庫補助を得て、国の重要文化財に指定されている阿弥陀堂門、鐘楼、手水屋形の修理事業に取り組んでいる。阿弥陀堂門の修理は昨年10月末に完了し、本年7月から、鐘楼、手水屋形の修復に着手した。



鐘楼

鐘楼、手水屋形ともに、再建から約130年が経過し、各所に損傷が見られるため、屋根葺替、銚金物補修、部分修理などの大規模な修理が行われる。鐘楼は、1858(安政5)年の大火による焼失

の後、名古屋の神野金之助氏らの寄進により、御影堂再建の棟梁と同じ伊藤平左衛門が担当し、1894(明治27)年に再建された。手水屋形は、1895(明治28)年に竣工、建立の理由は定かでないが、白洲と同じく参拝の行儀を整えるという意味で建てられたといわれている。

工事期間(予定)	鐘楼: 2023年7月〜2024年9月
	手水屋形: 2024年4月〜2025年3月



手水屋形

東本願寺 参拝案内を再開



7月より、「東本願寺参拝案内」を再開しました。東本願寺を知り、親鸞聖人の教えに出遇っていただくことを願い、東本願寺(真宗本廟)に参拝されたご門徒や一般参拝者(観光客・修学旅行生)を対象に、阿弥陀堂・御影堂をご案内します。東本願寺にお越しの際は、ぜひお気軽にご参加ください。

- 開催日程** 1日2回/各回30分程度
【1回目】9時30分〜 【2回目】15時〜
※開催日は東本願寺ホームページでご確認ください(1カ月毎に公開)。
- ※法要、行事等により開催しない日もあります。
- 集合場所** 御影堂門下
※事前申込不要・各回5分前にお集まりください。
- 案内人数** 各回25人(先着制)
- 案内場所** 阿弥陀堂・御影堂
- 案内者** 真宗大谷派僧侶(東本願寺職員等)
※僧籍をもたない職員が担当する場合があります。
- 記念品** 参拝記念「栞」
(栞には御影堂門の柱に施された32種類の獅子のうち、1種類が描かれています)
開催日はこちら→

真宗本廟建物(諸殿等)17棟が「重要文化財」指定へ



白書院

6月23日、国の文化審議会は真宗本廟境内の建物計17棟を新たに「重要文化財」に指定するよう文部科学大臣に答申した。

今回指定される見通しとなった建物は、「大寝殿」「白書院」「宮御殿」などの諸殿群14棟と、歴代門首の住居である「内事」建物3棟。

文化庁の

発表では、諸殿に関しては「近世以来の境内構成を受け継ぐ本山寺院が罹災後の復興と整備を重ねる中、近代化を受け、重層化した過程を知る上で歴史的に重要である。上質な意匠と格式を備えた近代随一の大規模殿舎群として高い価値を有している」と、内事に関しては「稀代



内事洋館

のデザイナー武田五一による和洋を併設した住宅として、意匠的に優秀である。また鉄筋コンクリート造の住宅として初期の事例であり、歴史的価値が高い」と評価された。

これを受け、木越渉宗務総長は、「このたび「重要文化財」に指定いただく重みを深く感じるとともに、このことよって、真宗大谷派東本願寺が、市民に、そして世界により開かれた場となるよう努めます」とコメントを発表した。今後、官報の告示を受けて正式に指定される。



宮御殿

今回(2023年)答申を受けた建物

- 内事3棟(洋館・日本館・鶴の間)
殿舎群14棟(宝蔵・大玄関及び大寝殿・白書院・黒書院・宮御殿・桜下亭・能舞台・議事堂・現東本願寺出版建物・表小書院・菊門・玄関門・寺務所門(現宗務所門)・内事門・十三窓土蔵)
2019年に指定された建物
御影堂・阿弥陀堂・御影堂門・阿弥陀堂門・鐘楼・手水屋形

東北教区「東日本大震災十三回忌法要」勤まる



6月11日、東北教区「東日本大震災十三回忌法要」が、岩手県陸前高田市にある本稱寺を会場に勤まり、当日は小雨の降る中、約90人が参詣した。

開会に先立ち、豊田正司東北教区教区会議長から「これまでの歩みを振り返りながら、新たな一歩を踏み出す機縁としていただきたい」と挨拶があり、引き続き、中根慶滋東北教務所長の調声のもと、「正信偈」が同朋唱和によって勤まった。

続いて、東北教区教化委員会教化本部長の清谷真澄氏による法話、そして本稱寺住職の佐々木隆道氏からは感話があった。佐々木氏は、「ご自身が被災された経験から「当時は忘れないでほしい」という思いが強かつ



たが、私たちもあの時いただいた支援のご恩を忘れないでいようと、気持ちに変化が見えてきた。また、12年前の出来事で多くの方々が亡くなったことだけは忘れないでほしい。命があるのが当たり前ではありません。このことを伝えていくのが私に課せられた役目であると思います」と語った。

その後、14時46分に勿忘の鐘が撞かれ、引き続き行われた交流会では、他教区からの支援者、参詣者、スタッフがそれぞれに思いを馳せる時間となった。

これからも、悲しみの中にある方々が大事おられることを忘れることなく、現地の方々の声や願いに、心を寄せ続けていきたい。

※当日の法要の様子はこちらからご覧ください↓



ご案内

詳しくは、真宗大谷派(東本願寺)ホームページ「法要・法話のご案内」まで
もしくは、右のQRコードを読みこんでください。



真宗本廟(東本願寺境内) 京都市下京区烏丸通七条上る

- ◆ 晨朝(おあさじ)【場所】阿弥陀堂及び御影堂 【時間】毎日7時~
◆ 晨朝法話 【場所】御影堂 【時間】毎日7時30分頃~ 約15分
◆ 真宗本廟法話 【場所】視聴覚ホール・大寝殿
【時間】通常10時10分~/13時10分~ 約25分
速夜日(12・27日)13時10分~ 約25分 御命日(28日)9時30分~ 約15分
※その他、時間・会場を変更する場合があります。
◆ 参拝接待所ギャラリー 【時間】9時~16時
「親鸞聖人のご生涯」(常設展)開催中

詳しくは、真宗大谷派ホームページまで

東本願寺 検索

しんらん交流館 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、ぜひ真宗教化センター しんらん交流館にお立ち寄りください。
開館時間/平日 9時~18時 土日祝 9時~17時 休館日/毎週火曜日 8/11~16・21

- ◆ 8月の定例法話【場所】1階 すみれの間
【時間】毎日14時~ 勤行後約1時間
※毎週火曜日、10~16・21・27日は休会、その他都合により休会する場合があります。
◆ 8月の東本願寺日曜講演
【場所】2階 大谷ホール 【時間】9時30分~11時
【講師】◆ 8月6日...川端泰幸(大谷大学准教授) ◆ 13日...休会 ◆ 20日...木本伸(立命館大学教授) ◆ 27日...藤原智(教学研究所研究員)
◆ 交流ギャラリー(1階)【時間】開館時間に同じ
「東本願寺の今昔」【期間】開催中~9月4日(月)
◆ しんらん交流館 Tera School【場所】1階 すみれの間
【日時】毎週月・金曜日 18時30分~20時30分
【対象】小学3年生~高校3年生
※幼児教室もあります。 http://www.teraschool.jp

東本願寺いのちとこころの相談室 【TEL】075-371-9280
【開室時間】毎週木曜日 13時~17時(祝日または休館日、その他行事日は閉室)

全国のお寺での取り組みや読みもののページなど、さまざまな情報を発信しています。

浄土真宗ドットインフォ

検索

2023年7月の大雨によって、九州をはじめ全国各地で被害に遭われました寺院・教会、ご門徒並びに被災者の方々に對し、衷心よりお見舞い申し上げます。 真宗大谷派(東本願寺)

トルコ・シリア地震の救援金の取り扱いについて

本年2月に発生した「トルコ・シリア地震」により被災された方々に、衷心よりお見舞い申し上げます。
このたび、全国から宗派に寄せられました救援金総額1,749,099円を駐日トルコ共和国大使館へ送金いたしました。全国から心温まるご支援を賜りましたことに對し、あらためて厚く御礼申し上げます。

「行財政改革」に関する報告書を公開しています

本年5月16日に、行財政改革検討委員会より内局に提出された「行財政改革検討委員会協議進捗報告」を宗派ホームページに公開しています。ぜひご覧ください。



読者のお便り

2011年の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌にいただいた縁がきっかけで出あった秋田のご門徒さん「同朋新聞」2023年3月号「現在を生きる」に出ておられた石井三和子さんと、4月16日の慶讃法要(音楽法要)の後、久しぶりに直接お会いしてお話しすることができました。

団体参拝でいらつらつしていたのであまり時間がなかったのですが、直にお顔を拝見してお話しできるというのはうれしいものです。お互いの近況報告やお参りに関してのことなどを話せるのは、門徒ならではといったところででしょうか。楽しいひと時はあっという間に過ぎて、互いの無事を感謝しつつお別れしました。

仏さまはいろいろな不思議な出あいを授けてくださるので、すね。ありがたいことです。

お便り募集

同朋新聞の感想をはじめ、日々の思いなどを寄せてください。

宛先 Eメール shuppan@nissashinonkanji.or.jp
FAX 0753719211
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「同朋新聞編集係」
紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただきます。

うれしい再会—法要を—縁に—

京都府京都市 中尾まり(56歳)

入館状況については、研修部までお電話でお問い合わせください。

2023年 真宗本廟奉仕のご案内

真宗本廟奉仕を機に、ぜひ「帰敬式」を受式ください。

◆真宗本廟おみがき奉仕団

2泊
11月1日(水)~3日(金)

1泊
11月1日(水)~2日(木)

真宗本廟報恩講を迎えるにあたって、阿弥陀堂や御影堂の仏具のおみがきを日程の中心とした奉仕団です。

申込締切 9月22日(金)



◆真宗本廟報恩講奉仕団

2泊
11月20日(月)~22日(水)
11月24日(金)~26日(日)
11月27日(月)~29日(水)

1泊
11月20日(月)~21日(火)
11月24日(金)~25日(土)
11月27日(月)~28日(火)

真宗本廟報恩講の法要参拝を日程の中心とした奉仕団です。

申込締切 10月11日(水)

◆真宗本廟お煤払い奉仕団

2泊
12月19日(火)~21日(木)

1泊
12月19日(火)~20日(水)

歳末、両堂の1年分の埃を竹の棒と大きな団扇を使って外へ扇ぎだし、新しい年をお迎えする準備を行う「お煤払い」に参加する奉仕団です。

申込締切 11月9日(木)

参加費 (2泊3日) 18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
(1泊2日) 13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。

【お問い合わせ】同朋会館・研修部 TEL:075-371-9185

- 受け入れ状況などの情報は、同朋会館ホームページでご覧いただけます。
- ご入館される皆様に安心してお過ごしいただけるよう、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施し運営しています。
- 具体的な対策については、同朋会館ホームページよりご確認ください。



真宗本廟奉仕参加者の声を「ご紹介」

他の参加者との座談や感話を聞いて、皆さんもそれぞれの立場から悩みを抱えながら頑張っておられるのを感じました。(30代男性)

今月号の『同朋新聞』を読んで、プレゼント付 クロスワードパズルを完成させよう!

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう!
8月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!

※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

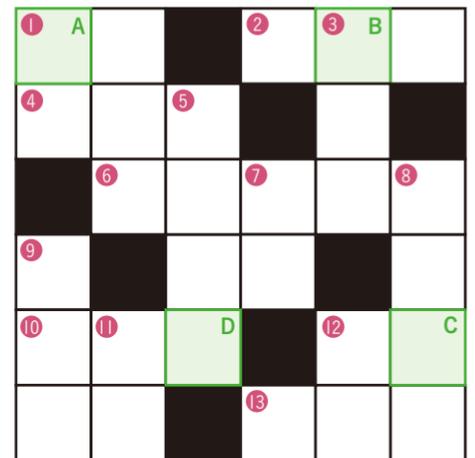
タテのカギ

- 『聞一今月の法話』今月のタイトルは、「私に仏教を伝えてくれた〇〇」です。(9面)
- 『親鸞聖人にであう』今月のタイトルは、「迷一道に〇〇〇〇ことを縁として」です。(5面)
- 御影堂門の虹梁には、明治期に流入した西洋彫刻に対抗して、草木の「〇〇〇〇」が施されています。(8面)
- 7月より、「東〇〇願寺参拝案内」を再開しました。(10面)
- 全国から宗派に寄せられたトルコ・シリア地震の救援金を「駐日トルコき〇〇〇〇大使館」へ送金しました。(11面)
- 「真宗〇〇〇〇に派」には、地域で教えを伝える中心道場として、北海道から沖縄、海外あわせて55の別院があります。(8面)
- 書籍「Q&A本尊の?に答え〇〇」が、8月1日より発売されます。(12面)

ヨコのカギ

- 新連載の『縁一お寺の掲示板』今月の法話は、「生は偶然 死は〇〇然」です。(4面)
- 『聞一今月の法話』今月の筆者は、「〇〇〇〇大聖寺教区」の和樂賢章さんです。(9面)
- 『現在を生きる』今月のテーマは、「聞く〇〇〇〇ことを大切に」です。(4面)
- 金沢教区の鶴来別院・金沢別院において、「宗祖親鸞聖人七百五十回御え〇〇〇〇〇う」が厳修されました。(10面)
- 『読者のお便り』今月は、京都府の「中〇〇〇」さんのお便りを紹介しています。(11面)
- 『現在を生きる』今月は、新潟教区通信員「〇〇見美希」さんが執筆しています。(4面)
- 『現在を生きる』今月は、新潟教区の「鷲尾〇〇〇」さんを紹介しています。(4面)

答え



6月号のクロスワードパズルの答えは、あ、ち、の、ひ

読者のこえ

- ◆【宗教とは 信仰とは】木越総長の「自らの考えに縛られているところから解放するのが、宗教」という言葉が心に響きました。(60代男性)
- ◆家族みんなでクロスワードに挑戦。紙面を読みながら、生まれたこと、生きることについて家族で話し合う日が過ごせました。(40代女性)

チャレンジ! 正解者の中から抽選で5名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1000円分」をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、下記までご応募ください。今月号の締め切りは8月31日(木) (当日消印有効)です。

メールでも応募できます!!

はがきと同様に必ず上記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞8月号クロスワード応募」と入力の上、higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。



応募はコチラ

【ご注意】◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報プレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」に掲載する場合があります。◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

宛先 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「クロスワードパズル係」まで

編集室 だより

◇最近、仕事や私生活で情報の正確さを調べることを怠り、自分の勝手な想像や思い込みにより、その結果、失敗や判断ミスをしてしまうことがありました。そんな私を見たある方から、「わからなかったら聞きに来ていいんだよ」と声をかけていただきました。年齢を重ねるにつれ、「わからない」と口に出すことは勇気が要るようになりますが、当たり前行動でもあります。その言葉を受け、ひと息つ

いて対話の機会を設け、思いを伝えあうことや助けを求めることの大切さをあらためて感じました。◇6・7面では真宗大谷派の予決算を特集しています。大切なお懇志を用いた膨大な予決算であり、使途も多岐にわたっていますが、紙面から多くの対話が生まれる一助となればと思います。私もわからないところは素直に色々な人にたずね、理解を深めていきたいです。(林)

真宗の仏事の回復を願って

浄土真宗の門徒には、ご本尊・阿弥陀如来を安置した「お内仏」の前に身を置き、親鸞聖人がつくられた「正信偈」をおつとめすることをとおして、真宗の教えを聞くという「お内仏のある生活」が伝えられてきました。今回は、そんな「お内仏のある生活」を学ぶことができる書籍をご紹介します。

古田和弘著 B6判 32頁
定価:165円(税込)

8/1発売 Q&A本尊の?に答えます

「本尊ってなんですか?」など、ご本尊について基本的な内容をQ&A形式で紐解く小冊子です。『Q&A お経の?に答えます』『Q&A 浄土真宗の?に答えます』も好評発売中です。

浄土真宗 仏教・仏事のハテナ?

定価:660円(税込) B6判 120頁

「念珠の持ち方は?」といった仏事の作法から、「お守りは本当に必要?」といった浄土真宗の教えに関することまで、仏教・仏事の素朴なハテナ?をまとめた一冊です。

真宗の仏事 —お内仏のある生活—

定価:550円(税込) B6判 152頁

お内仏のお給仕の仕方からおつとめの作法、報恩講をはじめとする定会法要(年中行事)まで、真宗の仏事を学ぶ基本書です。

お勤め練習帳 正信偈

定価:1,100円(税込) B5判 56頁

お勤めにあたってのポイント解説と現代語訳が付いた正信偈のお勤めが練習できる入門書です。練習用DVDも付属しています。